

環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事の進捗状況等について

都が整備を進めている環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事の進捗状況等についてお知らせします。

1. 進捗状況

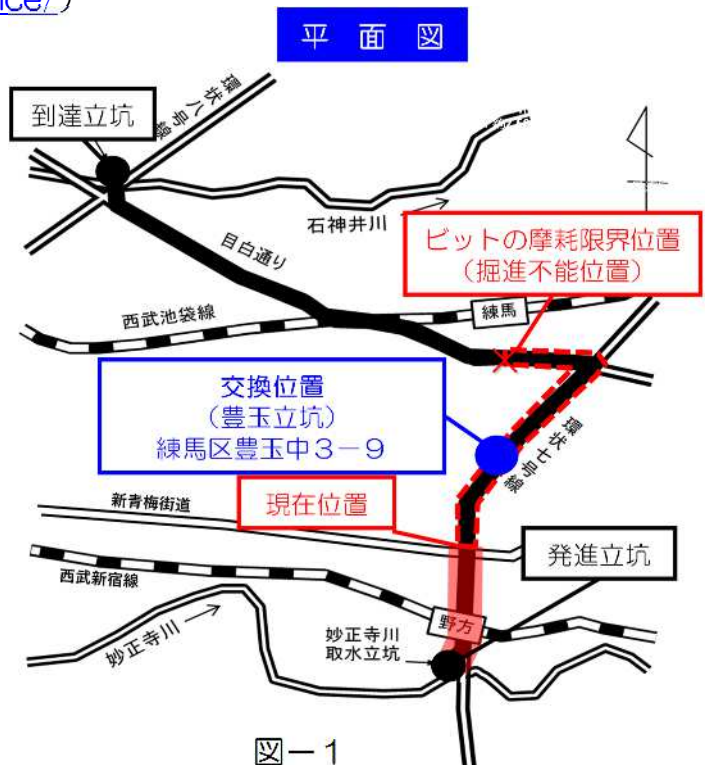
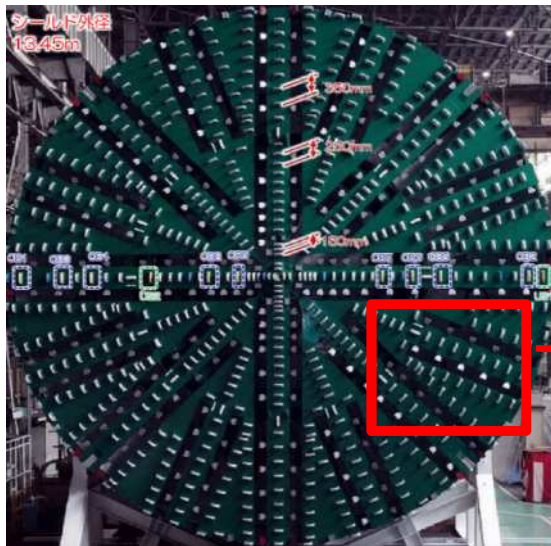
環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事は令和4年3月より掘進を開始、令和5年1月より本格的な掘進を開始し約600m付近を施工中です。（図-1 参照）

現在掘進中の西武新宿線より北側の区間は、事前に想定していたものよりも地盤が固く、シールド前面のビット^{*}に付着しやすい土質であったため、掘進速度が当初予定の1/3に低下している状況が続いています。

また、ビットの摩耗が当初想定していた値の2.4倍となっており、摩耗が非常に速いペースで進行している状況です。

施工にあたっては、日々、地盤沈下測量等で地表への影響を確認しており、周辺への影響はなく、安全に掘進が進んでいることを確認しています。（計測結果 HP：http://kanzyou7.com/ground_subsidence/）

シールドトンネル施工状況
2023年9月 約400m地点より



^{*}ビット：地盤を削るための超合金等でできた刃

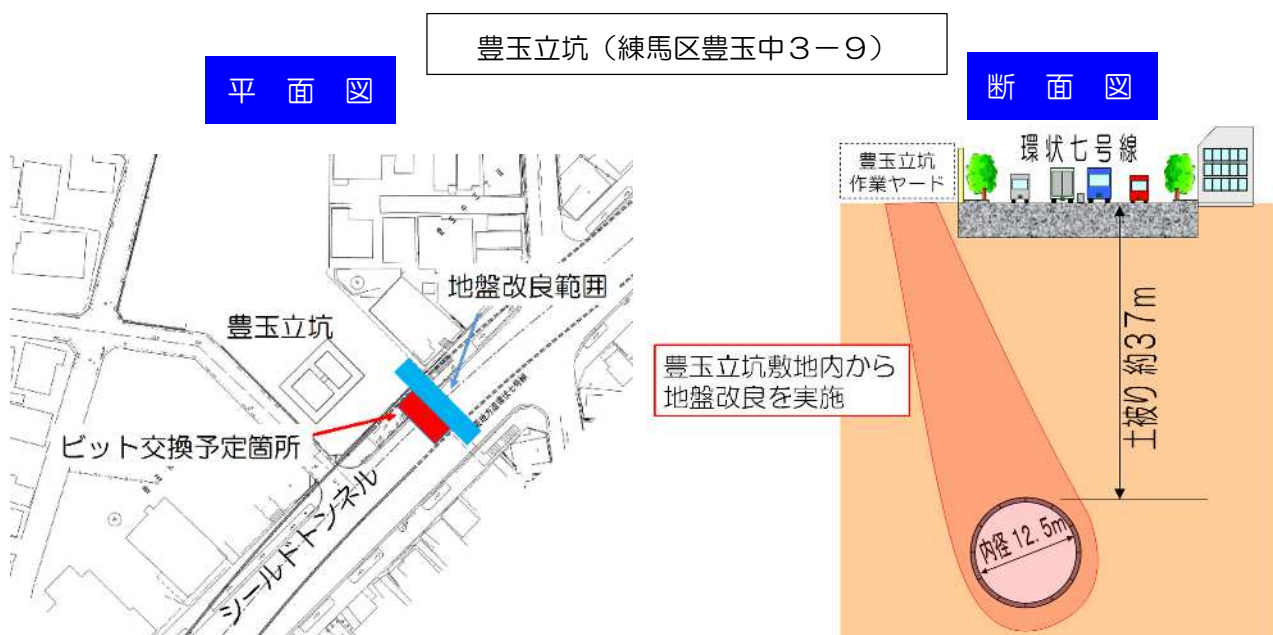
2. 今後の方針と作業内容

こうした状況を踏まえ、当初はビットの交換をせずに全長約 5.4kmを施工する予定でしたが、今後もこのような状況が続いた場合、途中の段階で掘進不能となることが判明したため、ビットを交換することとし、このたび交換に関わる準備工事に着手いたします。

シールドマシンによる掘進は、ビットを交換する場所である豊玉立坑（練馬区豊玉中3-9）前まで、これまで通り安全に配慮して実施していきます。

ビット交換を安全に実施するためには地盤を改良する必要があり、その準備作業を並行して進め、豊玉立坑前にシールドマシンが到着した後に一度掘進を中断し、交換作業を行います。

作業については豊玉立坑敷地より行いますので、環状七号線の車や歩行者の通行に支障はありません。引き続き、安全な施工に努めてまいります。

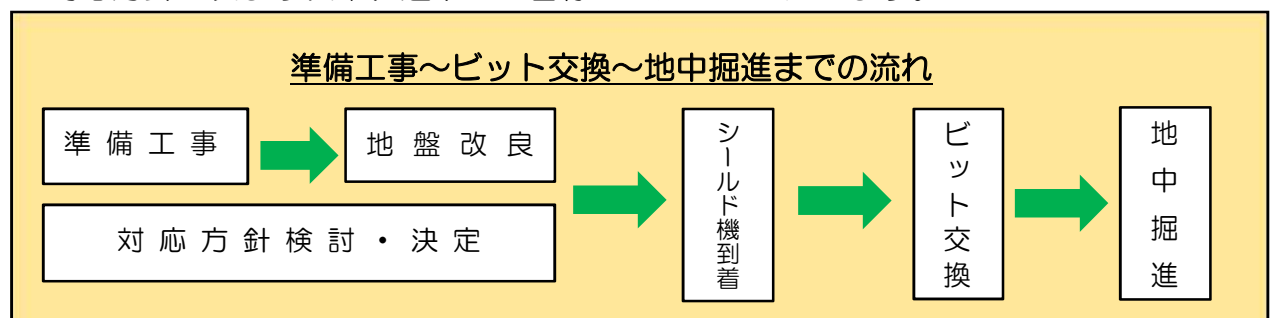


3. 今後の見込み

原因の調査およびビットの交換内容等、掘進を安全に進めるための具体的な対応方針を有識者の助言も踏まえて検討してまいります。

なお、作業には準備を含めて時間を要する見込みです。

対応方針が決まり次第、速やかに皆様へお知らせいたします。



《事業に関する問い合わせ先》
◆東京都第三建設事務所 工事第二課 広域調節池工事担当
電話 03-3387-6251・6254
◆東京都第三建設事務所のホームページ
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/index.html>
◆環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事ホームページ
<http://kanzyou7.com/>